

真剣勝負で交流を深める

姉妹都市の登別市・海老名市とスポーツ交流大会



1・2_海老名市とのスポーツ交流。海老名市の選手たちが本市を訪れ、剣道で対戦した 3~5_登別市とのスポーツ交流。登別市の選手たちが本市を訪れ、野球で対戦した

8月9日、「登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流大会」が市営球場で開催され、登別市と本市の小学生や指導者など約70人が参加しました。野球が行われたこの日の試合は、登別市選抜A・Bと本市選抜A・Bとがそれぞれ対戦。2-0、10-1で2勝した登別市選抜に軍配が上がりました。閉会式終了後は、スパッシュランドしろいしで一緒にプールで遊ぶなど、楽しみながら交流を深めました。また、この日は「海老名・白石姉

妹都市少年スポーツ交流大会」が福岡中学校体育館で行われ、剣道競技で対戦。個人戦が行われた後、海老名市と本市の選手や指導者など73人が合同で稽古を行い、一緒に汗を流しました。大会終了後は、グリーンパーク不忘へ移動。バーベキューなどを楽しみました。

数日前から接近していた台風の影響で開催が危ぶまれた両大会。選手たちは台風に負けず、スポーツを通して友情を深めていました。

朝からラジオ体操 気持ちいい！

白石市制60周年記念事業平成26年度「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」



1_参加者たちは、ラジオ体操の全国生中継前に体操指導の先生の指導のもと、笑顔で汗を流した 2_大きく手を広げる運動。朝の涼しい時間の体操は気持ちがいいね！ 3_「ラジオ体操・みんなの体操会」に参加。家族や体操指導の先生を真似て、一生懸命に体を動かした

8月8日、「平成26年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」をホワイトキューブで開催し、NHKラジオ第1で全国・海外に生中継されました。この体操会は、白石市制施行60周年記念事業の1つとして開催。市内外から1,300人以上の人がホワイトキューブに集結し、ラジオ体操で気持ちいい汗を流しながら白石市の元気をアピールしました。

また、体操終了後には、ラジオ体操普及に貢献した個人や団体を表彰する式典が行われ、はたけな製麺株式会社と、社株式会社エコー設備工業が表彰されました。参加者たちは「早起きして参加したことで、今日一日をさわやかにスタートできたと思います」「最初は眠かったけど体操してすっきりしました」などとすがすがしい表情で話してくれました。

9月10日は 下水道の日

見えない「下水道」… 見えないところで私たちの生活を支えています
～水質保全と環境を守るため、私たちができることを考えよう～

☎上下水道事業所 ☎25-5522

■「下水道の日」とは

下水道の普及率が全国で6%と低い水準だった昭和36年、下水道の全国的な普及促進をPRする活動として「全国下水道促進デー」がスタートしました。

その後、旧下水道法が制定された明治33年からちょうど100年を迎えた平成13年、21世紀のスタートの年として親しみのある名称にしようと、現在の「下水道の日」に改められました。また、9月10日は、台風シーズンと言われる立春から数えて210日を過ぎた220日目にあたり、下水道の雨水を流す役割と大雨に備える趣旨から、9月10日が「下水道の日」となりました。

■下水道の役割

私たちの生活から出るお風呂や洗濯、食器洗い、トイレなどの生活排水と、工場などから出る水を「汚水」と言い、雨水と合わせて「下水」と言います。

見えないところで私たちの生活を支える縁の下の力持ち「下水道」。その主な役割は次のとおりです。

- ①街をきれいにする
- ②浸水から街を守る
- ③トイレの水洗化と生活排水の処理
- ④きれいな水辺をつくる

■生活排水

1日に家庭から出る汚水の量は、4人家族の場合、約1,000リットルと言われ、そのうち70%は台所からの汚水と言われています。水を汚してしまうと、その水をきれいにするために多くの水が必要になり、魚が住める水質(BOD 5 mg/リットル)に戻すためには、たくさんの水が必要になります。

■未来に向けて

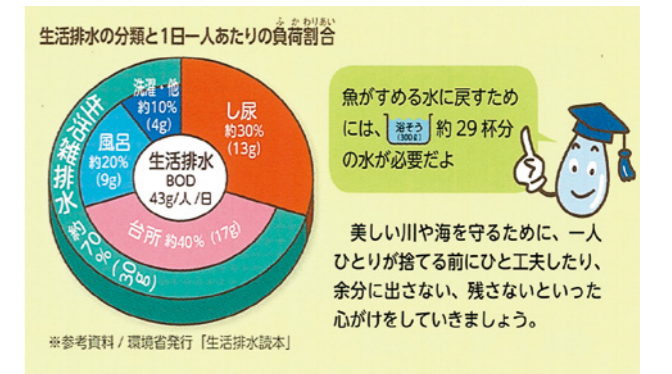
私たちの生活排水は、地下にある下水道管を通して「下水処理場」できれいにし、海へ戻しています。環境にやさしい生活を心掛けましょう。

たとえば

- ・食器の油は、紙などで拭き取ってから洗う。
- ・洗剤を使い過ぎていないか再確認する。
- ・お風呂の残り湯を再利用する。
- ・髪の毛などを流さない。

■市からのお願い

- ・水質保全のため、下水道の普及促進を図っています。公共下水の接続にご協力をお願いします。
- ・東日本大震災に関連した復旧工事に全力を尽くしております。今後、工事に伴う交通の障害・振動・騒音などが地域の皆様に及ぼす影響を最小限になるよう努めますので、工事期間は何かご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



水について楽しく学ぼう

白石市制施行60周年記念事業「しろいし水まつり」

8月2日、上下水道事業所で「しろいし水まつり」が開催されました。この催しは、水道給水開始から60年目の節目を記念するとともに、上下水道への理解と関心を育み、健全な公営企業運営に繋げることを目的に開催。この日は、350人が来場し、利き水体験や応急給水車実演、水源を訪ねるツアー、水風船や金魚すくいができる子ども広場などが設けられ、大人から子どもまで楽しめるまつりとなりました。利き水を体験した来場者は「白石の水がなめらかで飲みやすく、一番美味しかったです」と話していました。



▲利き水体験で3種類の水を飲み比べ